

平成 25 年度 事業報告 及び 収支決算報告 の 件

〈はじめに〉

福祉センターは、創立 35 年目となります。また、福祉センター協議会は平成 18 年度より舞鶴市勤労者福祉センターの指定管理者となり、平成 26 年 3 月末で無事、今期(平成 21 年から 5 年間)の指定管理者期間の終了を迎えました。これまで、諸先輩方の知恵と工夫による時代状況に応じた運営をしっかりと継承し、舞鶴に働く勤労者の福祉のために尽くしてまいりました。今後も健全な運営管理を行い、次回の指定管理者を受けられるよう、これまで以上に勤労者の福祉のために尽くしてまいりたいと考えております。

さらに来年度からは勤労者福祉センター施設の場所は、旧市民病院の跡地に移転することが決まっております。跡地が勤労者の福祉施設として整備された暁には、新たな施設の指定管理者として認定されるよう、理事会やあり方検討委員会で検討し運営していきたいと考えております。

本年度の当センター協議会の現状は、貸室事業では、前年度比では、利用件数・人員ともに若干の増加となりました。結婚式事業においては、0 組の実績となりました。事業の大幅増収が見込めない中、固定費の抑制や労福協との協力も行いできる限りの事務所経費の削減にも努めましたが、新規事業であるセミナー事業の取り組みによる経費の増加があり本年度は△644,205 円と赤字の決算となりました。

以下、事業毎に報告いたします。

1. 各事業の経過

(1) 貸室事業 《資料 1(P2~P4) 参照》

別館は昨年度対比、件数で 63 件の増加(5%増加)、利用人員は、789 人増加(4%増加)となりました。

本館は昨年度対比、件数で 3 件の減少(1%増加)、利用人員は、497 人の増加(4%増加)。

全体としては、件数で 60 件増加(3%増加)、利用人員は 1,286 人増加(4%増加)となっております。

本年度においても、新規のサークル利用及び当福祉センター協議会主催のセミナーにより、利用件数・人員ともに若干の増加となりました。平成 26 年度は、皆様に喜ばれるセミナーを開催し労福協と協力しながら、事業展開を行い利用の拡大を図っていききたいと考えています。

貸室実績表

別館	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	109	1,810	97	1,463	107	1,511
5月	92	1,250	93	1,464	126	1,871
6月	116	2,040	111	1,580	113	1,768
7月	100	1,446	97	1,380	95	1,071
8月	91	1,326	97	1,337	91	1,187
9月	101	1,198	92	1,094	101	1,191
10月	111	1,795	113	1,893	124	1,970
11月	119	1,899	119	1,836	119	1,869
12月	90	1,373	83	1,119	105	1,404
1月	74	1,391	79	1,732	88	1,738
2月	82	1,135	113	1,628	114	1,637
3月	108	1,515	121	1,749	95	1,847
(合計)	1,193	18,178	1,215	18,275	1,278	19,064

本館	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	42	886	64	1,421	45	871
5月	43	954	54	1,042	47	934
6月	53	1,092	56	1,169	51	1,112
7月	44	1,058	47	965	50	975
8月	23	486	23	490	52	744
9月	35	731	45	760	43	930
10月	40	923	47	983	44	1,082
11月	59	1,858	58	1,232	53	1,220
12月	55	1,228	55	1,096	58	1,354
1月	44	925	54	1,070	49	1,138
2月	31	612	42	849	49	1,024
3月	60	1,266	47	901	48	1,091
(合計)	529	12,019	592	11,978	589	12,475

総計	1,722	30,197	1,807	30,253	1,867	31,539
----	-------	--------	-------	--------	-------	--------

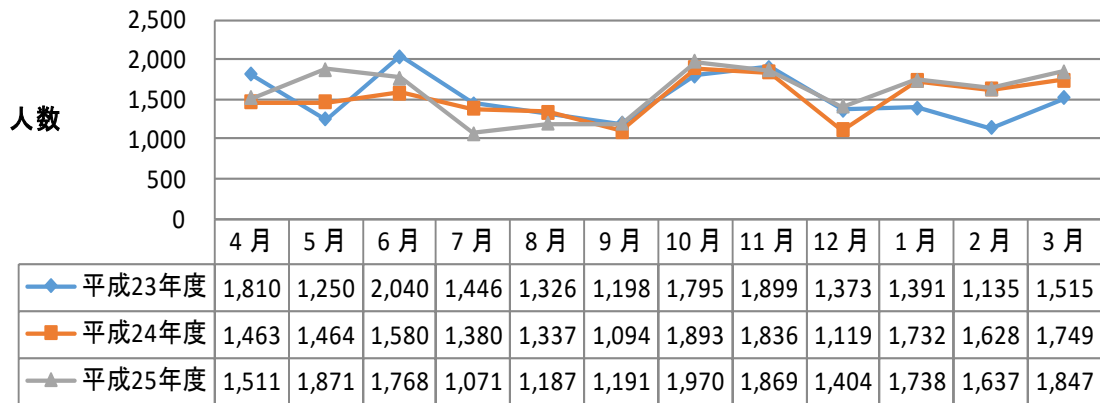
昨年度対比
別館
本館
合計

利用件数
105%
99%
103%

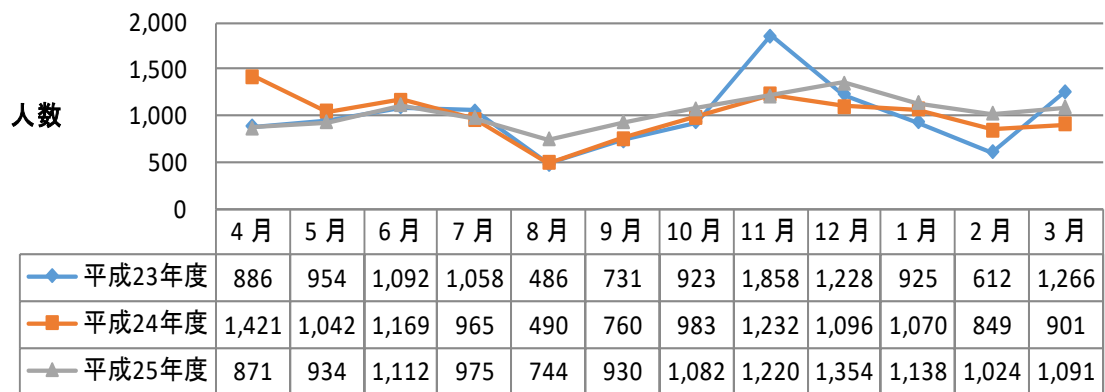
利用人数
104%
104%
104%

貸室人数

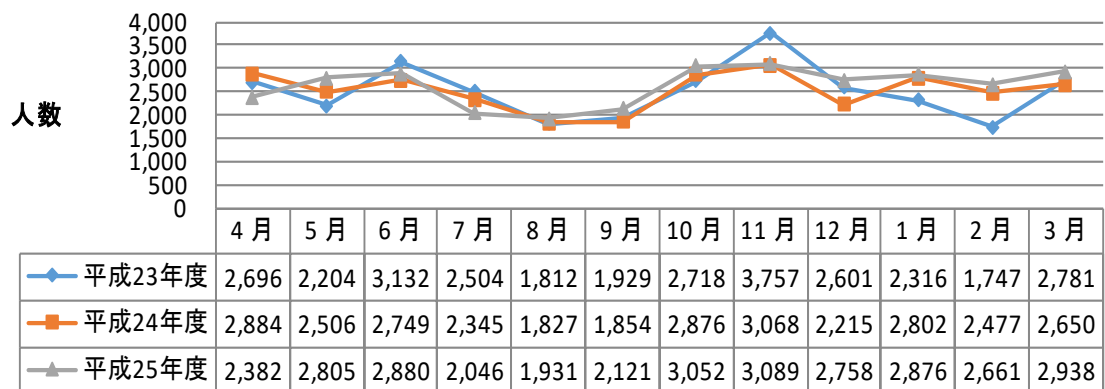
《別館》



《本館》

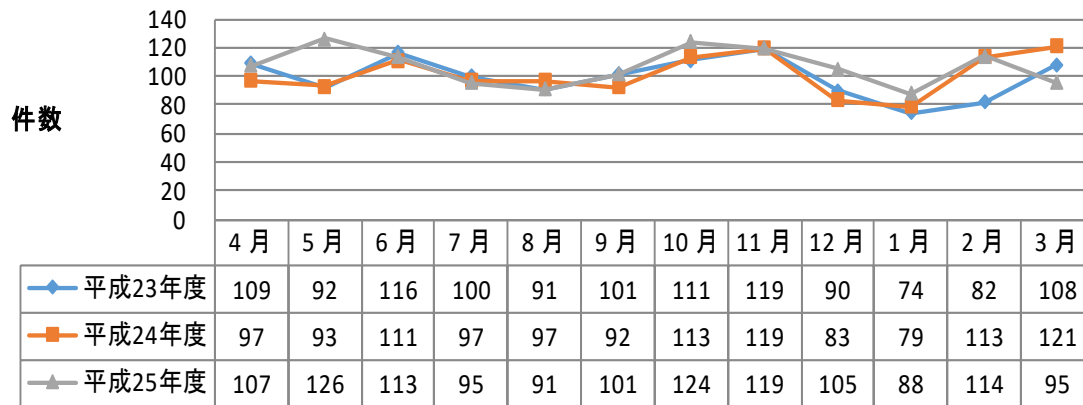


《合計》

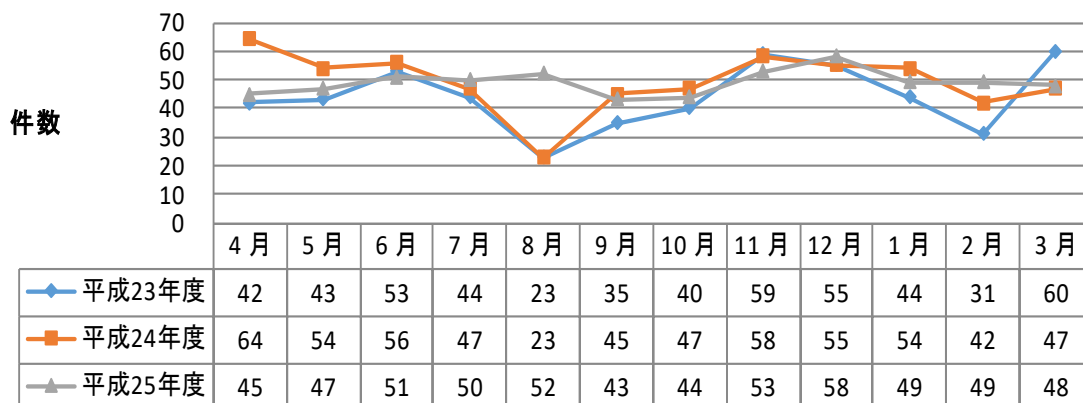


貸室件数

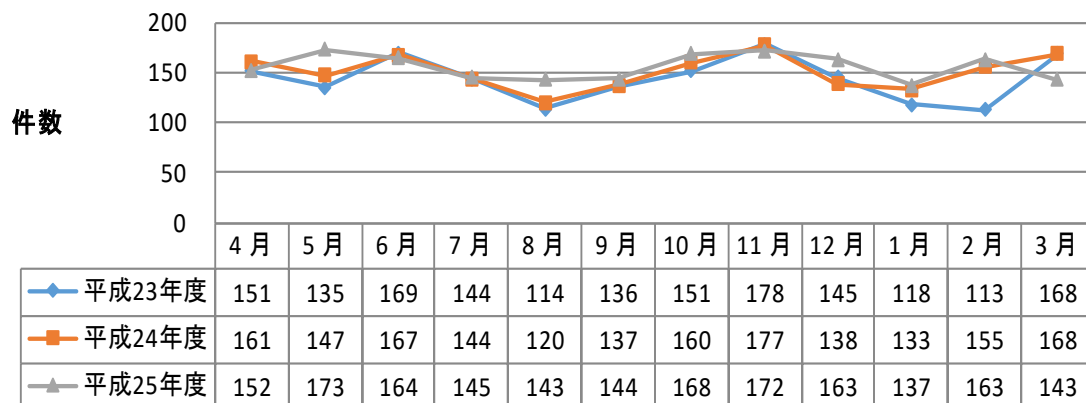
《別館》



《本館》



《合計》



(2) 結婚式事業

本年度は結婚式組数が0組となりました。式場としての建物の老朽化及びお客様の式場に対するニーズの変化への対応が難しく大変厳しいのが現状であります。

また、施設の移転に伴い現在は結婚式事業を行える状態ではありません。上記の現状も踏まえ移転後の結婚式事業について議論を行っていきたいと考えております。

結婚式実績表

合計	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	組数	組数	組数
4 月	0	1	0
5 月	0	0	0
6 月	0	0	0
7 月	0	0	0
8 月	1	0	0
9 月	0	0	0
前期	1	1	0
10 月	0	0	0
11 月	0	0	0
12 月	0	0	0
1 月	0	0	0
2 月	0	0	0
3 月	0	0	0
後期	0	0	0
合計	1	1	0

(3) セミナー事業 《別添「資料 アンケート集計結果」 参照》

平成 25 年度より新規事業として、セミナーの開催に取り組んでおります。勤労者及び地域住民の福祉向上に資する公益性のあるセミナーの提供を行っていきたいと考えております。

平成 25 年度は、主に定年退職前の勤労者を対象に生涯経済プラン・健康管理・退職後の労働などについて全 4 回のセミナーを開催しました。また、参加いただいた皆様にアンケートを配布しご協力いただきました。主な意見は下記の通りです。

- ・退職に伴う税金、基礎年金、厚生年金の受給額が予想でき参考になった。
- ・年金の話は、普段聞けないことなので参加してよかった。
- ・今後も積極的に参加したい。
- ・自分のもらえる年金額が分かり、これからの生活設計に役立つ。
- ・「長期計画プラン作成（実技）」が人生設計を改めて考え直す良い機会になった。
- ・自分にはまだ先の内容だが、年金についての知識の重要性を認識する良い機会になった。
- ・退職金の運用はよくわかった。
- ・貯蓄の必要性や必要な貯蓄額がわかり参考になった。
- ・健康面においても社会保障面においても、いきがいが大切さを改めて感じた。
- ・年金制度、保障制度について非常に複雑でした。また機会があれば受講したい。
- ・退職後の健康づくりについて参考になったが、体を動かしながら説明があってもよかった。

このアンケートでいただいた貴重な意見を、次年度以降のセミナー開催に生かし取り組んでいきたいと考えております。

2. 労福協との連携

本年度も労福協との連携により、経費節減、業務の効率化、お客様への利便性の向上を図りました。具体的には、①昼間窓口業務の協力体制 ②会計部門の委託 ③休館日(月曜日)の利用 ④宴会時の貸室料金と飲食代金の一括領収等を継続実施しております。

今後も勤労者の福祉団体としてお互いが知恵を出し合い、少しでもお客様のニーズに応える事ができるよう努力をまいります。

3. 公益法人制度改革について

これまであり方検討委員会や理事会で議論して頂き、平成26年4月1日付で一般財団法人への移行が完了いたしました。

【一般財団法人移行報告】

H25

- 3月 12日 **第35回臨時評議員会**
最初の評議員の選任方法承認
定款変更の案承認
平成25年度事業計画及び予算承認
- 28日 **京都府個別相談**
最終確認
- 29日 **法人移行申請日**
- 6月 18日 **補正（審議会）**
- 7月 11日 **質問（京都府担当課）**
- 8月 1日 **質問（京都府担当課）**
- 10月 1日 **質問（京都府担当課）**
- 11月 22日 **補正（審議会）**
- 12月 22日 **質問（京都府担当課）**

H26

- 1月 15日 **補正（審議会）**
- 2月 19日 **第2回 持ち回り理事会**
平成25年度 セミナー事業について
- 26日 **質問（京都府担当課）**
- 27日 **質問（京都府担当課）**
- 28日 **質問（京都府担当課）**
- 3月 5日 **質問（京都府担当課）**
- 10日 **質問（京都府担当課）**
- 第3回 常任理事会**
平成25年度1月末事業報告及び収支報告
選定委員候補者の承認
- 3月 **移行後の理事・監事候補者の承認（登記まで停止条件付）**
移行後の評議員候補者の承認（登記まで停止条件付）
- 11日 **第3回 理事会**
平成25年度1月末事業報告及び収支報告
選定委員候補者の承認
移行後の理事・監事候補者の承認（登記まで停止条件付）
移行後の評議員候補者の承認（登記まで停止条件付）
- 12日 **審議会（京都府）**
- 18日 **一般財団法人移行認可日**
- 25日 **選定委員会開催**
移行後の評議員の承認
- 26日 **第4回 常任理事会及び理事会**
最初の評議員選定委員会で承認された評議員の確認報告
移行登記作業の委嘱について
移行後の役員承認
- 4月 1日 **移行登記日**
- 9日 **移行登記完了届提出（旧主務官庁及び行政庁）**

4. 施設及び設備の改善経過

来館されたお客様に快適に過ごしていただけるよう、本年度も舞鶴市のご協力を頂き下記箇所について設備の改善を実施いたしました。

改善箇所は次の通りです。

- (1) 本館
 - ・ 5F 冷暖房機冷温水管詰まり
 - ・ 消防用設備不良箇所修繕
- (2) 別館
 - ・ 自転車小屋屋根補修

平成25年度 年間活動報告(平成25年4月～平成26年3月)

区分	H. 25 7月	8月	9月	10月	11月	12月	H. 26 1月	2月	3月	H. 26 4月	5月	6月
常任理事会				18日 18:30～ 第1回					10日 18:30～ 第3回	18日 臨時		
理事会				22日 18:30～ 第1回			19日 18:30～ 第2回		11日 18:30～ 第3回 26日 18:30～ 第4回			2日 18:30～ 第5回
評議員会											15日 臨時	日 定時
あり方検討 委員会		2日 18:30～ 第8回		9日 18:30～ 第9回 28日 18:30～ 第10回	11日 18:30～ 第11回	13日 18:30～ 第12回	16日 18:30～ 第13回	6日 18:30～ 第14回				
イベント									1日 14:00～ 「セカンドライフ準備 セミナー」 8日 14:00～ 「リタイアメントプランを つくろう」 22日 14:00～ 「セカンドライフブラッシュ アップセミナー」 29日 14:00～ 「退職後の充実した ワークライフバランス」			日 「メンタルヘルスって何？」 (セミナー)
舞鶴市役所	9日 利用実績月次報告書	9日 利用実績月次報告書	5日 利用実績月次報告書	8日 利用実績月次報告書	13日 利用実績月次報告書	18日 利用実績月次報告書	15日 利用実績月次報告書	17日 利用実績月次報告書	30日 利用実績月次報告書 31日 指定管理者【修繕費】 報告書	30日 利用実績月次報告書 年度事業報告書		
京都府	11日 移行申請内容質問	1日 移行申請内容質問		1日 移行申請内容質問	22日 法人移行審議会	22日 移行申請内容質問	15日 移行申請内容質問	19・26・27・28日 移行申請内容質問	5・10日 移行申請内容質問 12日 法人移行審議会 18日 一般財団法人移行認可	9日 一般財団法人移行 登記完了届出		
その他									25日 18:30～ 移行後の最初の評議員 選定委員会	1日 一般財団法人移行 登記日	27日 16:00～ 会計監査	

平成25年度 収支計算書

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

	平成25年度 予算	平成25年度 決算	平成24年度 決算	予算対比 (%)
収入				
基本財産運用収入	18,000	6,195	9,083	34.4
事業収入	9,234,600	8,939,720	8,761,960	96.8
貸室事業収入	7,204,600	6,978,250	6,890,770	96.9
結婚式事業収入	0	0	0	0.0
附帯事業収入	1,500,000	1,313,630	1,324,350	87.6
物品販売収入	530,000	647,840	546,840	122.2
指定管理料	7,412,000	7,127,905	7,152,000	96.2
雑収入	100,000	105,621	135,400	105.6
特定預金取崩収入	15,000,000	0	0	0
当期収入合計(A)	31,764,600	16,179,441	16,058,443	50.9
前期繰越収支差額	3,388,872	3,388,872	3,298,489	
収入合計(B)	35,153,472	19,568,313	19,356,932	
支出				
管理費	15,690,600	15,995,383	15,473,189	101.9
人件費	3,822,000	4,611,081	3,655,892	120.6
物件費	1,075,100	775,608	1,233,442	72.1
一般管理費	10,793,500	10,608,694	10,583,855	98.3
事業費	1,074,000	828,263	494,871	77.1
結婚式事業費	0	0	0	0.0
物品販売仕入	450,000	588,818	494,871	130.8
セミナー事業費	624,000	239,445	0	38.4
特定預金支出	15,000,000	0	0	0
当期支出合計	31,764,600	16,823,646	15,968,060	53.0
予備費	3,388,872	0	0	
支出合計(C)	35,153,472	16,823,646	15,968,060	
当期収支差額(A-C)	△ 3,388,872	△ 644,205	90,383	
次期繰越収支差額(B-C)	0	2,744,667	3,388,872	

貸借対照表

平成26年3月31日現在

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	26,709,227	29,862,787	△ 3,153,560
未収金	7,227,627	5,219,667	2,007,960
商品	31,353	39,640	△ 8,287
立替金	32,420	25,110	7,310
出資金	60,000	60,000	0
流動資産合計	34,060,627	35,207,204	△ 1,146,577
2. 固定資産			
什器備品	0	135,539	△ 135,539
固定資産合計	0	135,539	△ 135,539
資産合計	34,060,627	35,342,743	△ 1,282,116
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,209,563	1,694,453	△ 484,890
前受金	6,300	25,420	△ 19,120
預り金	42,097	40,459	1,638
流動負債合計	1,257,960	1,760,332	△ 502,372
2. 固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,257,960	1,760,332	△ 502,372
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	15,058,000	15,058,000	0
指定正味財産合計	15,058,000	15,058,000	0
(うち基本財産への充当額)	(15,058,000)	(15,058,000)	0
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	17,744,667	18,524,411	△ 779,744
一般正味財産合計	17,744,667	18,524,411	△ 779,744
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	32,802,667	33,582,411	△ 779,744
負債及び正味財産合計	34,060,627	35,342,743	△ 1,282,116

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	6,195	9,083	△ 2,888
事業収入			
貸室事業収入	6,978,250	6,890,770	87,480
結婚式事業収入	0	0	0
附帯事業収入	1,313,630	1,324,350	△ 10,720
物品販売収入	647,840	546,840	101,000
指定管理料	7,127,905	7,152,000	△ 24,095
雑収入			
受取利息	6,664	7,060	△ 396
雑収入	98,957	128,340	△ 29,383
経常収益計	16,179,441	16,058,443	120,998
(2) 経常費用			
事業費			
結婚式事業費	0	0	0
諸事業費	588,818	494,871	93,947
セミナー事業費	239,445	0	239,445
管理費			
人件費	4,611,081	3,655,892	955,189
物件費	775,608	1,233,442	△ 457,834
一般管理費	10,608,694	10,583,855	24,839
備品償却額	0	18,530	△ 18,530
経常費用計	16,823,646	15,986,590	837,056
当期経常増減額	△ 644,205	71,853	△ 716,058
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	△ 135,539	0	△ 135,539
経常外費用計	△ 135,539	0	△ 135,539
当期経常外増減額	△ 135,539	0	△ 135,539
当期一般正味財産増減額	△ 779,744	71,853	△ 851,597
一般正味財産期首残高	18,524,411	18,452,558	71,853
一般正味財産期末残高	17,744,667	18,524,411	△ 779,744
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	15,058,000	15,058,000	0
指定正味財産期末残高	15,058,000	15,058,000	0
III 正味財産期末残高	32,802,667	33,582,411	△ 779,744

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、商品、未収金、立替金、出資金、未払金、前受金、預り金を含めている。

2. 基本財産の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 減 額	当 期 末 残 高
基本残高預金	15,058,000	0	15,058,000
合計(基本金)	15,058,000	0	15,058,000

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
運 用 財 産	△ 15,000,000	△ 15,000,000
現 金 ・ 預 金	14,804,787	11,651,227
商 品	39,640	31,353
未 収 金	5,219,667	7,227,627
立 替 金	25,110	32,420
出 資 金	60,000	60,000
合 計	5,149,204	4,002,627
未 払 金	1,694,453	1,209,563
前 受 金	25,420	6,300
預 り 金	40,459	42,097
合 計	1,760,332	1,257,960
次期繰越収支差額	3,388,872	2,744,667


財産目録


平成26年3月31日現在

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金手許有高	28,489		
普通預金			
近畿労働金庫舞鶴支店	1,031,991		
京都北都信用金庫東舞鶴中央支店	590,747		
定期預金			
近畿労働金庫舞鶴支店	25,058,000		
商品	31,353		
未収金	7,227,627		
立替金	32,420		
出資金	60,000		
流動資産合計		34,060,627	
資産合計			34,060,627
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,209,563		
前受金	6,300		
預り金	42,097		
流動負債合計		1,257,960	
1. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			1,257,960
正味財産			32,802,667

平成 25 年度 会計 監査 報告 の 件

一般財団法人 舞鶴勤労者福祉センター協議会
理事長 西原 実信 様

監事 森口 等史 

監事 西野 祐良 

平成 25 年度 会計 監査 報告 書

平成 25 年度の財団法人舞鶴勤労者福祉センター協議会の運営及び会計について、平成 26 年 5 月 27 日監査を行った結果下記の通り報告します。

記

1. 監査実施対象期間

自 平成 25 年度 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日

2. 評

平成 25 年度収支決算及び関係帳簿の監査を行った結果、本館・別館ともその正確なることを認めます。

その他の件

平成 26 年 5 月 1 日から収益事業の一環として、舞鶴労福協財産であった現連合京都北部地協事務所の土地・建物を購入し、連合京都北部地協と賃貸契約を行いましたことをご報告いたします。詳細は下記の通りです。

- | | |
|--------------|---|
| ・ 購入理由 | : 労福協の未払金 (6,639,800 円) の回収及び新規賃貸収入 |
| ・ 購入金額 | : 17,400,000 円 (但し労福協未払金と相殺し、支払金額 10,760,200 円) |
| ・ 賃貸収入発生日 | : 平成 26 年 5 月 1 日 |
| ・ 賃貸契約期間 | : 2 年間(自動更新) |
| ・ 賃貸収入額 (月額) | : 150,000 円 |

舞鶴勤労者福祉センター協議会主催

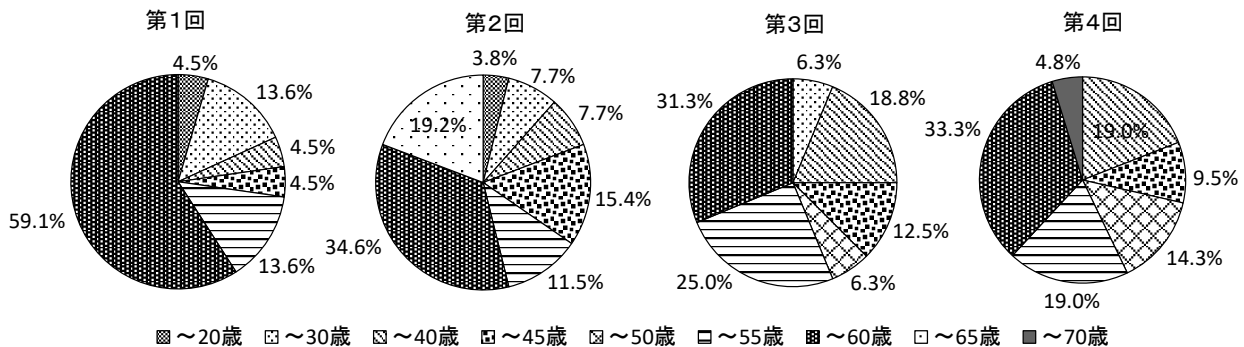
平成25年度 セミナー実績

【セミナー開催場所】：舞鶴市勤労者福祉センター 本館5F 第1ホール

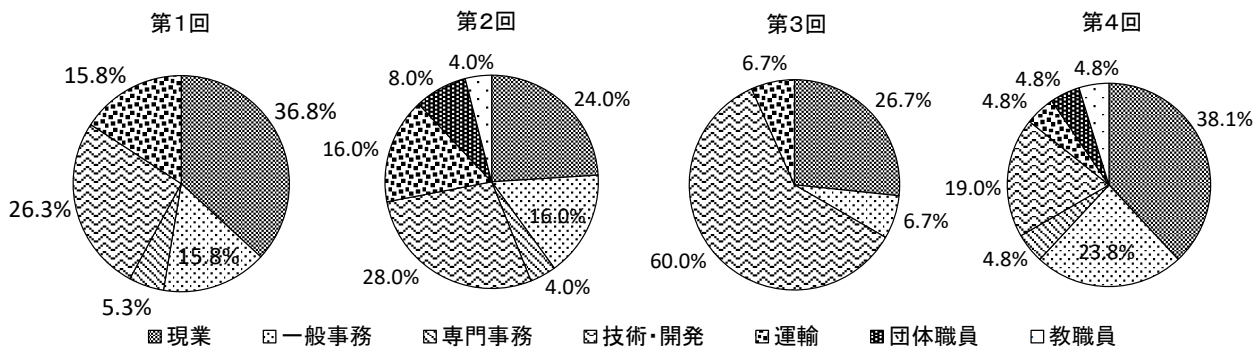
	セミナー テーマ	講演内容	講師	参加人数	
第1回	退職前に学ぶセミナー 「セカンドライフ 準備セミナー」 2014年3月1日(土) 14:00～16:00	“退職後の生活設計” 新しい人生に幸せあり！	社会保険労務士 ファイナンシャルプランナー 保理江 正剛氏	28人	男：26名 女：2名
第2回	退職前に学ぶセミナー 「リタイアメントプランを作ろう」 2014年3月8日(土) 14:00～16:00	“退職後の生活設計” リタイアメントプランを作ろう	社会保険労務士 ファイナンシャルプランナー 保理江 正剛氏	29人	男：27名 女：2名
第3回	退職前に学ぶセミナー 「セカンドライフ ブラッシュアップセミナー」 2014年3月22日(土) 14:00～16:00	“退職後の生活設計” 生活全般の見直し、 退職金の使い方3つのお願い	社会保険労務士 ファイナンシャルプランナー 保理江 正剛氏	18人	男：18名 女：0名
第4回	退職前に学ぶセミナー 「退職後の充実したワークライフバランス」 2014年3月29日(土) 14:00～16:00	「年代に合った 健康づくりについて」 「退職後の労働について」	保健士 小林 久美子氏 社会保険労務士 足立 徳二氏	27人	男：26名 女：1名

実施セミナー 各回別アンケート集計結果

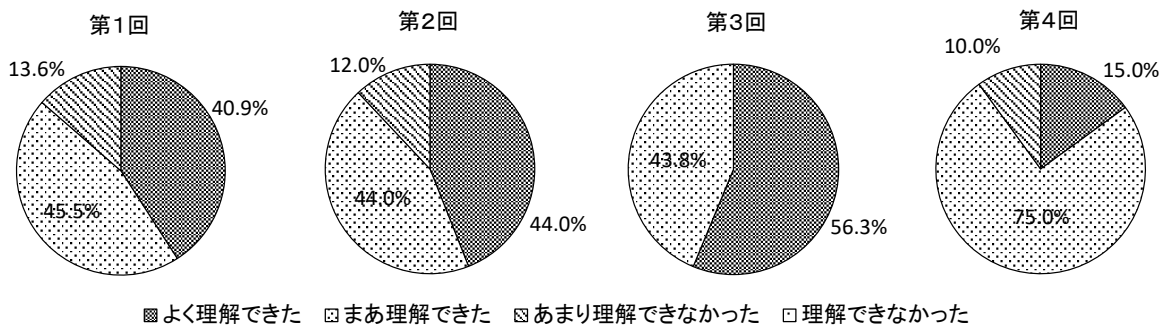
設問2：あなたの年齢は？



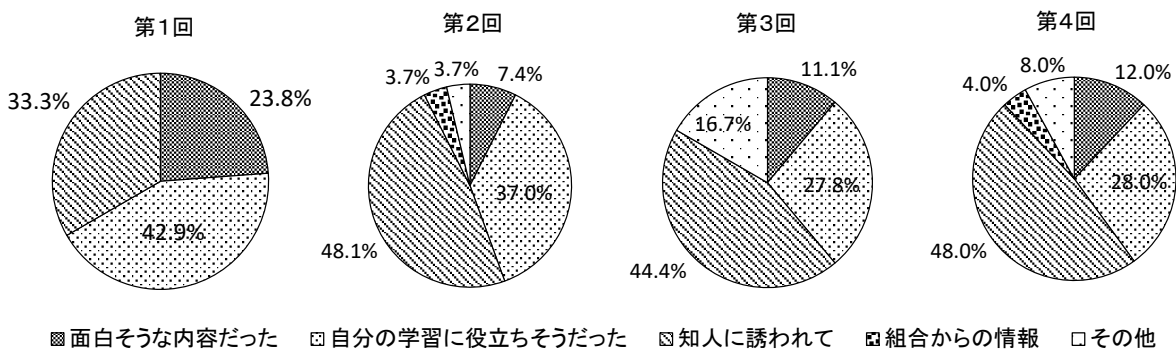
設問3：あなたの主たる職種は何ですか？



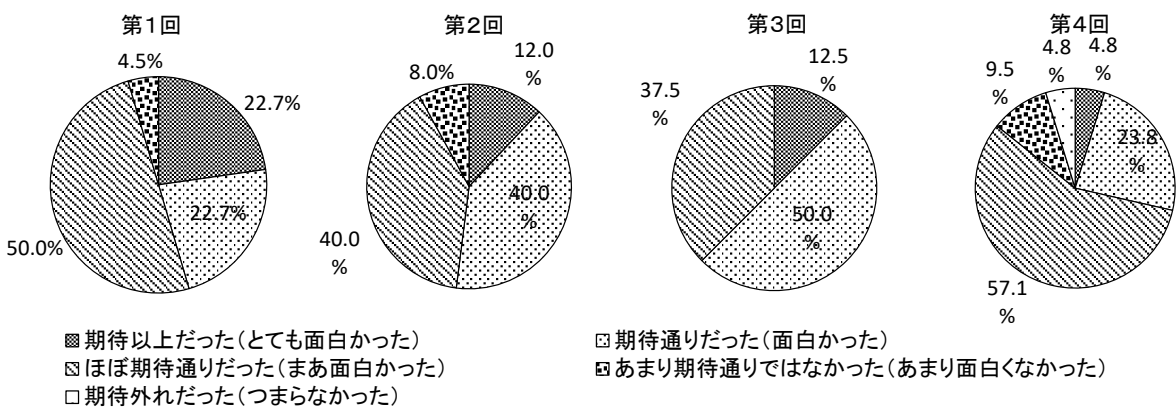
設問4：セミナー内容は理解できましたか？



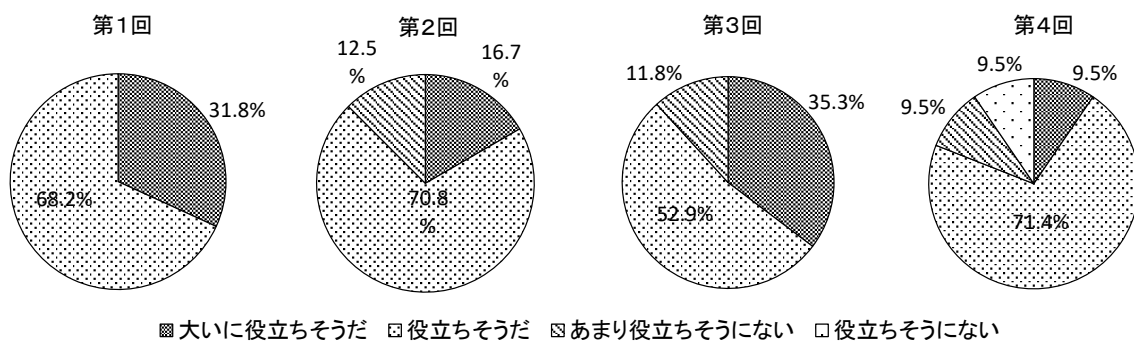
設問5：受講した動機(複数回答可)



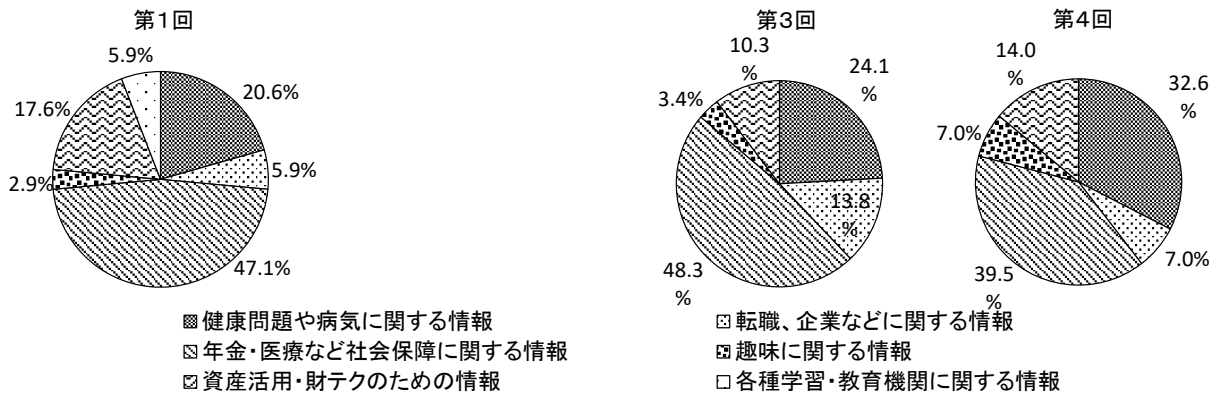
設問6：内容は期待通りでしたか？



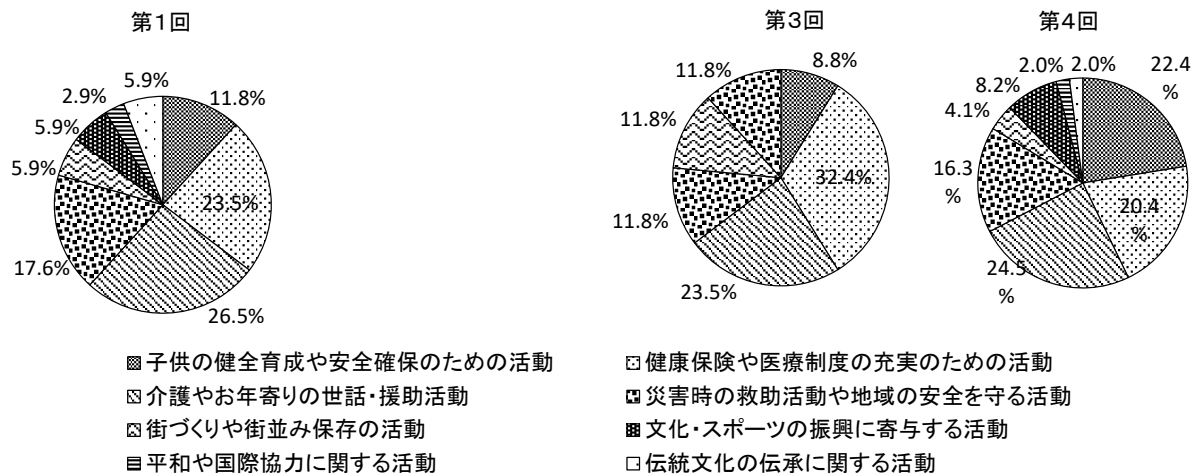
設問7：セミナー内容は、セカンドライフに役立ちそう？



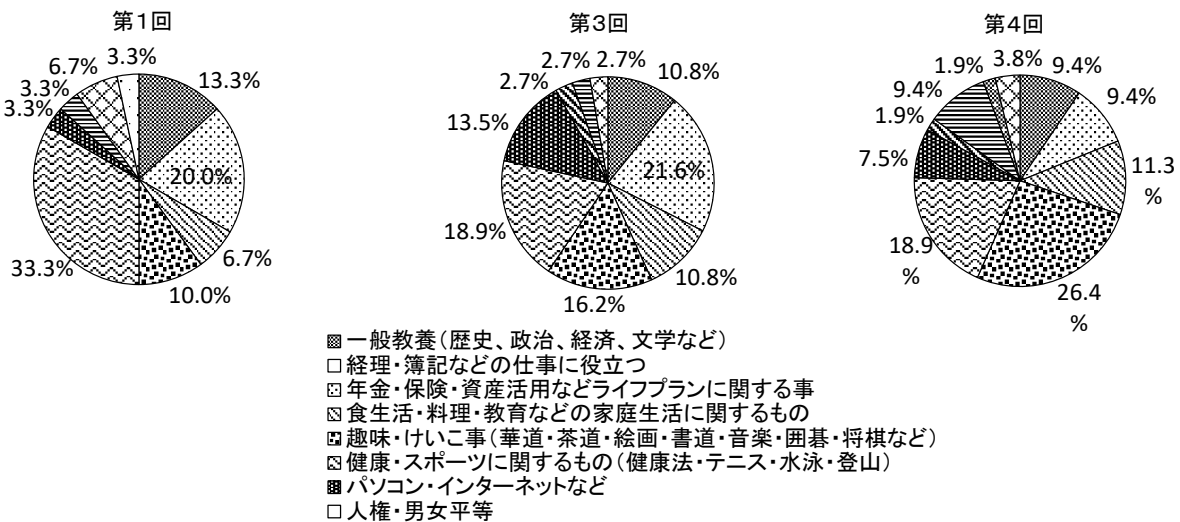
設問8：定年後の生活を考える上で、必要だと思う情報？（複数回答可）



設問9：老後の生活に於いて、地域社会との関わりや福祉との関係は一層深まっていくと思われるが、あなたが大切だと思う活動はどのようなものですか？（複数回答可）

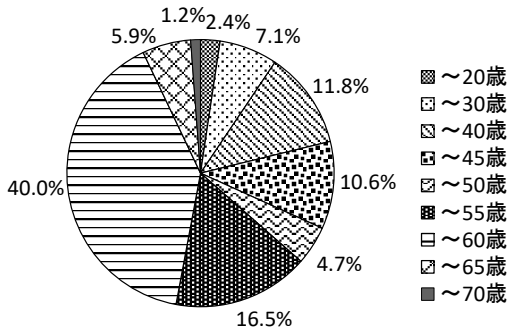


設問10：時間的余裕ができた時、したい学習・勉強にはどのようなものがありますか？（複数回答可）

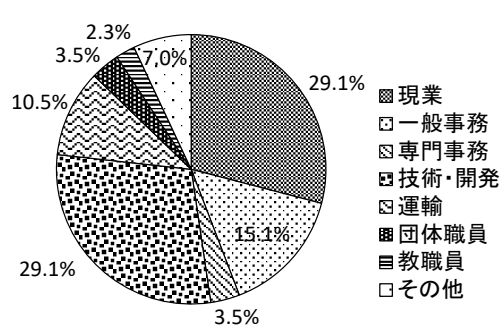


実施セミナー 全回数アンケート集計結果

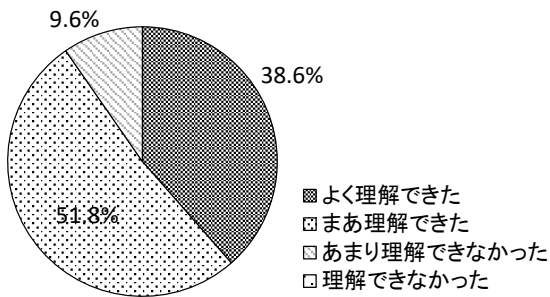
●あなたの年齢は？



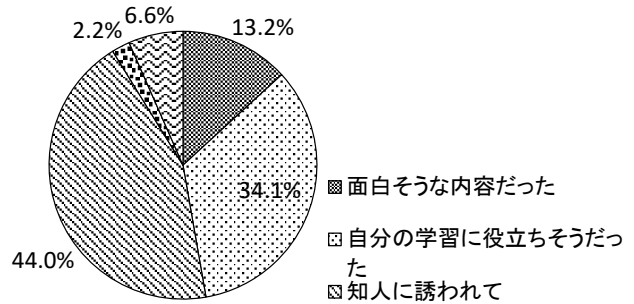
●あなたの主たる職種は何ですか？



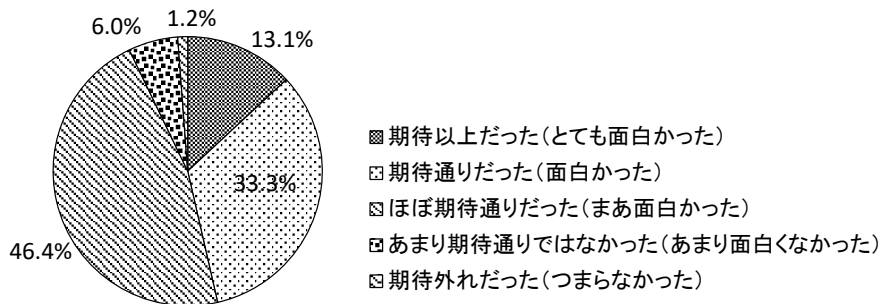
●セミナー内容は理解できましたか？



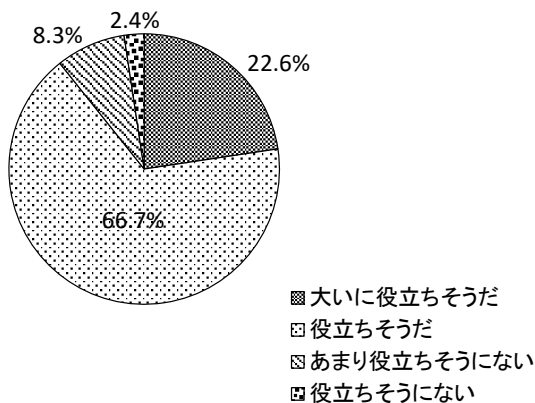
●受講した動機は何ですか？



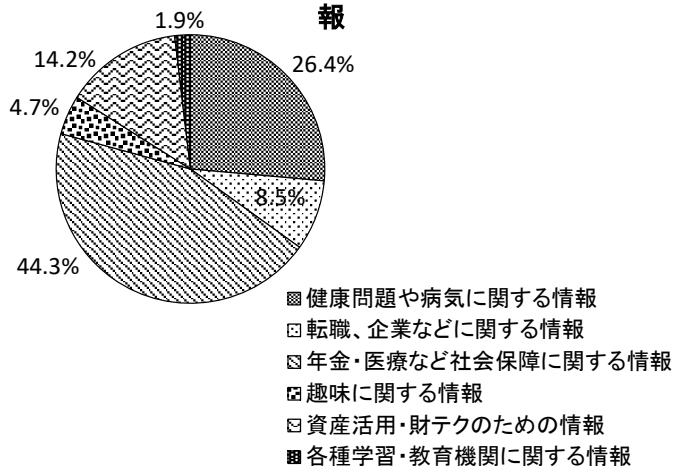
●内容は期待通りでしたか？



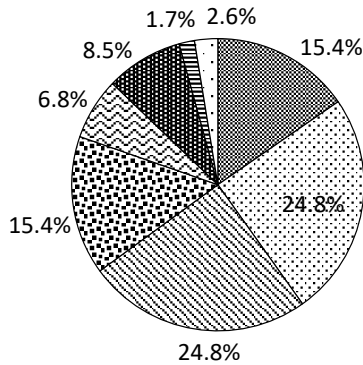
●セミナーはセカンドライフに役立ちそう



●定年後の生活を考える上で、必要だと思う情報

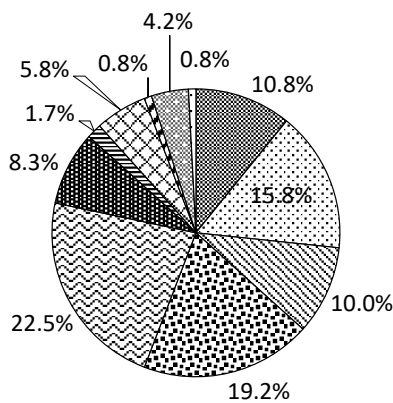


●地域社会や福祉との関わりにおいて、大切だと思われる活動は？



- 子供の健全育成や安全確保のための活動
- 健康保険や医療制度の充実のための活動
- ▨ 介護やお年寄りの世話・援助活動
- ▩ 災害時の救助活動や地域の安全を守る活動
- ▧ 街づくりや街並み保存の活動
- ▦ 文化・スポーツの振興に寄与する活動
- ▤ 平和や国際協力に関する活動
- ▣ 伝統文化の伝承に関する活動

●時間的余裕が出来たとき、したい学習・勉強はどのようなものですか？



- 一般教養(歴史、政治、経済、文学など)
- 経理・簿記などの仕事に役立つ
- ▨ 年金・保険・資産活用などライフプランに関する事
- ▩ 食生活・料理・教育などの家庭生活に関するもの
- ▧ 趣味・けいこ事(華道・茶道・絵画・書道・音楽・囲碁・将棋など)
- ▦ 健康・スポーツに関するもの(健康法・テニス・水泳・登山)
- ▤ パソコン・インターネットなど
- ▣ 人権・男女平等
- ▢ 福祉問題・ごみ問題
- 育児・介護の知識・技術
- 手話・点字
- ▧ 英会話などの語学
- その他

※セミナーで興味深かった内容および全体についての感想

- 第1回 基礎年金、厚生年金の受給額が予想でき参考になりました。
年金カットの仕組み。
退職に伴う税金。
44年加入特例。
年金のお話は、普段聞けないことなので参加してよかった。
今後も積極的に参加したいと思った。
年金はまだまだ先の事だけど、いい話が聞けて良かった。
自分のもらえる年金額が分かり、これからの生活設計に役立つことが分かった。
切りつめられるところを探す必要がある。
- 第2回 「長期計画プラン(作成)」が参考になった。
今後の人生設計を改めて考え直す機会になりました。ありがとうございます。
「長期計画プラン(作成)」は大変興味深い、わかりやすい内容でした。
「長期計画プラン(作成)」を夫婦で作成します。
「長期計画プラン(作成)」があり、内容がより分かりやすかった。
自分にはまだ先の内容だが、年金についての知識の重要性を認識する良い機会になった。
- 第3回 大変役立つ内容でした。
当たり前だと思っている支出には、理にかなわないものがある。
銀行は運用益を賄うが、保険は加入者負担。
老後までに必要な貯蓄は貯蓄は参考になった。
退職金の運用はよくわかった。
貯蓄の必要性やどれだけ貯蓄が必要かわかったのでよかった。
- 第4回 年金の受け取り年齢について。
定年後の年金給付のルール等知らないことが多く、本日は非常に参考になりました。
健康面においても社会保障面においても、いきがいが大切という事を改めて感じました。
せっかく来た良い機会だったので今後頭に置いて生活していきたいと思います。
定年と生きがい。
年金制度、保障制度について非常に複雑でした。また機会があれば受講したいと思います。
退職後の健康づくりについて参考になったが、体を動かしながら説明があってもよかった。